

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
平成 28 年度 第 2 回情報共有会合議事概要

1. 日時：平成 28 年 7 月 19 日（火）14:30～16:00

2. 場所：札幌第 1 合同庁舎地下 1 階南側会議室

3. 出席者 28 名

北海道開発局（5 名）、第 1 管区海上保安本部海洋情報部、北海道地方環境事務所、陸上自衛隊北部方面総監部、北海道（4 名）、札幌市、北海道立総合研究機構（2 名）、日本測量協会北海道支部（2 名）、北海道測量設計業協会、北海道 GIS・GPS 研究会、北海道 GIS 技術研究会、日本写真測量学会北海道支部、Digital 北海道研究会（2 名）、北海道高度情報化農業研究会、北海道大学、国土地理院（3 名）

4. 議事

- (1) 地理院地図パートナーネットワーク会合参加報告
- (2) i-Construction の概要
- (3) オープンデータを活用した都市モデル構築の現状と課題
- (4) その他

5. 配付資料

- (1) 事務局
 - ・議事次第・出席者名簿
 - ・G 空間 EXP02016 ちらし
 - ・平成 28 年度第 1 回情報共有会合議事概要
- (2) 発表資料
 - ・第 5 回地理院地図パートナーネットワーク会議参加報告（北海道 GIS 技術研究会）
 - ・i-Construction の概要（北海道開発局）
 - ・オープンデータを活用した都市モデル構築の現状と課題（産学官 CIM・GIS 研究会）

6. 議事概要

今回の会合は、次の 3 課題の発表を行った。

- (1) 北海道 GIS 技術研究会より、第 5 回地理院地図パートナーネットワーク会合の参加報告が行われた。会合における印象的な質疑の内容とパートナーネットワークへの参加のメリットについて質問があり、会合における質問では教育関係の今後の対応の方向性に関するものが出ていたこと、参加のメリットは様々な業種の方の考えに触れることができ参考になることが回答された。
- (2) 北海道開発局より、i-Construction の概要に関する説明があった。i-

Construction の導入により今後、川上にある測定の必要性がなくなるかということ及び i-Construction の導入の状況に関する質問があり、測定はなくなることはなく UAV の適用場面などが整理されていくと思われること、北海道開発局の発注のうち 1 本は既に受注者が ICT 施工を希望していることが回答された。

(3) 産学官 CIM・GIS 研究会より、オープンデータを活用した都市モデル構築の現状と課題について発表があった。オープンデータを活用した都市モデル構築の課題について質問があり、活用を想定した形式でのデータの公開が進んでいないことが回答された。

7. その他

北海道 GIS・GPS 研究会から「スマートアグリ戦略セミナー」、産学官 CIM・GIS 研究会から「第 9 回産学官 CIM・GIS セミナー」及び「地理空間ソフトウェアのハンズオンセミナー」、Digital 北海道研究会から「GIS 講習会」、事務局から G 空間 EXPO2016 の案内がそれぞれ行われた。第 3 回情報共有会合は 9 月後半を予定。